

## ① アリババ

一日で8%近くの大暴落。

以前からお伝えしています通り、50ドル台に向かっています。

SBGは極めて厳しい状況に陥っていると思われます。

みなさん、細心の注意をお願いいたします。



## ② ECB

欧州中央銀行(ECB)は10日開いた理事会で、量的緩和政策の縮小を加速する方針を決めた。

ロシアのウクライナ侵攻で景気の先行きの不透明感が強まっているが、勢いづくインフレを抑えるために必要と判断した。

6月までに段階的に購入量を減らし、その後、量的緩和政策を終了するかは「データ次第」とした。早ければ7～9月に量的緩和政策を終了する。

今回の決定で債券の購入量は、4月が400億ユーロ、5月が300億ユーロ、6月が200億ユーロとなる。

ECBがこの日発表した新しい経済・物価見通しによると、ユーロ圏の2022年のインフレ率は **5.1%**で、昨年12月時点の予想(3.2%)を大幅に上方修正した。

⇒ 為替は若干失望売り。ユーロは127円台半ばと円高となっています。

### ③ 米 CPI

米労働省が 10 日発表した 2 月の消費者物価指数 (CPI) は前年同月比の上昇率が **7.9%** となった。伸びは 1 月 (7.5%) より拡大し、40 年ぶりの高い水準。

変動の激しい食品とエネルギーを除いた前年同月比の伸びも 2 月は **6.4%** と、1 月 (6.0%) から加速した。

インディアナポリス大学のマシュー・ウィル准教授は「**インフレ率は今後も高まる**」とみる。

ソニーフィナンシャルグループの渡辺浩志氏は「**米国のインフレ率は 4~6 月にピークを迎え、その後も高い状態が続くだろう**」と話す。

物価を長く押し上げる要因が **家賃の上昇**。

いったん上がるとなかなか下がらない住居費は消費者物価全体の 3 割を占め、2 月に **4.7%** 上昇した。

⇒ FRB の金融政策は完全に後手に回りました。

今後、急激に FF レートを上げざるを得ない状況に追い込まれるでしょう。

株価と不動産価格の大幅な下落が起こると思います。

動画視聴者のみなさまは、準備完了かと思われるので安心しております。

### ④ 米回国債利回り

米 CPI 発表を受けて、米回国債利回りは大きく上昇 (債券価格は下落)。

特に 2 年国債利回りは 1.7% 台に乗ってきました。

今後、ますますドル高になると考えられます。

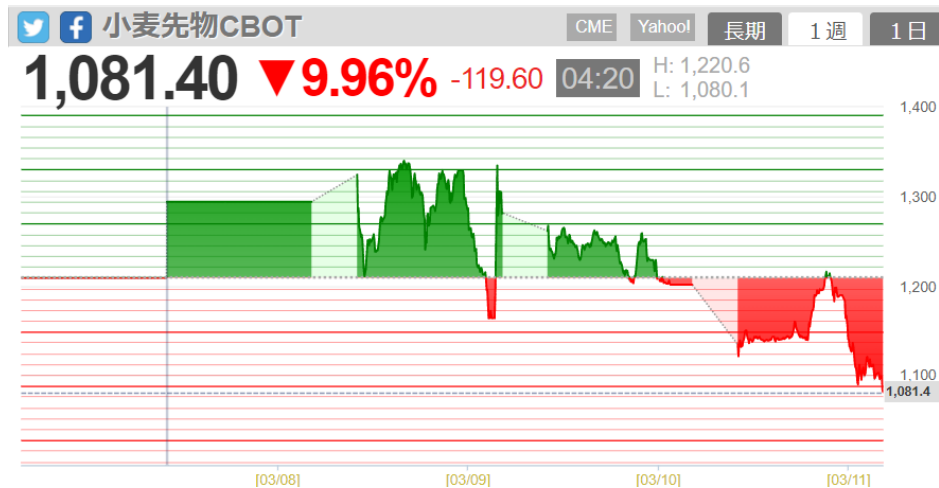


## ⑤ 原油 & 金 & 小麦

原油は反落。

ドル建て金価格は堅調。

小麦は大幅続落。



## ⑥ 人民元

上昇トレンド継続。

得た為替差益でウクライナに対して何らかの支援をしたいものです。

